

編集委員会からのお知らせ

『ヴィクトリア朝文化研究』第13号は、2015年11月に発行の予定です。会員の方々はふるってご投稿ください。投稿の締切は、2015年6月末です。投稿規程については、以下をご覧ください。

投稿規程

1. 投稿原稿は以下のいずれかのカテゴリーに属するものとする。
 - (a) 論文
 - (b) 研究ノート(a), (b) いずれについても、編集委員会が審査し、採否を決定する。
2. 投稿資格は会員であり、当該年度の会費を納入した者であること。
3. 投稿原稿は未発表のものであること。ただし、口頭で発表されたものは投稿可。
4. 投稿原稿は、本学会の設立趣旨に沿い、広くヴィクトリア朝文化に関わる学際的な視野を持つものが望ましい。(学会の設立趣旨に関しては、本学会則第2条およびHPを参照のこと。)
5. 投稿原稿は、原則として、パソコンまたはワープロにより、A4用紙に横書きしたものとする。
 - (a) 論文は、和文の場合20,000字以内(A4用紙40字×30行で16.5枚程度、図版を含む)、英文の場合8,000語以内(A4用紙65ストローク×25行をめやすに約29枚、図版を含む)とする。和文の論文には上記英文の要領で英文要旨(1枚)をつける。著作権のある図版等を使用する場合は、あらかじめ許可を得ておくこと。
 - (b) 研究ノートは、和文12,000字以内(A4用紙40字×30行で10枚)とする。
6. 投稿者は現住所(電話番号、あればメールアドレスも)、氏名、所属、身分、投稿原稿が(a), (b)いずれに属するかを明記した別紙を同時に提出のこと。
7. 引証の形式は、MLA、APA、シカゴスタイルなど各自の専門分野の慣行に従うこと。
8. 原稿は4部提出すること。なお、原稿は返却しない。原稿の送付先は、日本ヴィクトリア朝文化研究学会事務局(甲南大学文学部 井野瀬久美恵研究室 〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本8-9-1)とする。

著作権および掲載論文の公開について

1. 『ヴィクトリア朝文化研究』に掲載される論文(研究ノートおよび書評を含む、以下同)について、本会には以下の方針を適用する。この方針は第9号掲載分

以降に対して適用する。

2. 本誌掲載論文の著作権は日本ヴィクトリア朝文化研究学会に帰属する。
3. 掲載号発刊後 12 箇月が経過した論文は、PDF ファイルで本会ホームページ上に一般公開する。
4. 執筆者個人がインターネット上に本誌掲載論文を公開する場合は、本会ホームページ上にある PDF ファイルへのリンクという方法をとることとする。個人のウェブサイト内で別フォーマットのを公開してはならない。
5. 執筆者個人がインターネット上に本誌掲載論文を公開する場合は、以下の条件を満たさなければならない。
 - (a) 掲載号発刊後 12 箇月が経過していること
 - (b) 権利表示を行うこと
 - (c) 出典表示を行うこと
 - (d) 公開された文書の利用は著作権の範囲内に限られる旨の表示を行うこと
6. 執筆者個人が自身の著書等に本誌掲載論文を転載する場合は、事前に本会事務局に申し出て許可を得なければならない。転載許可願の様式は本会 HP からダウンロードすることができる。

日本ヴィクトリア朝文化研究学会優秀論文賞規程

1. (名称) 本賞は日本ヴィクトリア朝文化研究学会優秀論文賞と称する。
 2. (目的) 本賞は本会会員の学術研究の奨励と、日本におけるヴィクトリア朝文化研究の振興を目的とする。
 3. (対象) 会誌『ヴィクトリア朝文化研究』各号に掲載された論文のうち優秀なもの 1 編を受賞の対象とする。受賞に値する論文がない場合には、受賞に準ずる論文を佳作に選出することもある。
 4. (賞金) 本賞の賞金は 5 万円とし、学会会計より支出する。佳作の賞金は 3 万円とする。
 5. (審査) 審査は会誌編集委員会が行なう。編集委員長は、必要に応じて編集委員以外の会員にも参考意見を求めることができる。
 6. (発表) 本会総会において当該年度の受賞論文を発表し、受賞者を表彰する。
 7. (改正) 本規程の改正は運営委員会、理事会の議によって行なう。
- 付則 本規程は平成 23 年 11 月 19 日より施行する。

編集後記

前編集委員長の舟川一彦先生から編集の任を引き継ぎました時、本誌の堅実な編集方針を遵守すべきだと心しました。ただ編集にかかると、それが大変な仕事であると改めて理解するのにはそれほど時間がかかりませんでした。

さて、本誌をひもとかれた方は、まずかなりの増ページになっているのに驚かれるでしょう。昨年の全国大会で行われた「シンポジウム」、「特別企画 歴史学と文学の対話」が採録され、ここに再現されています。あの熱い時間を多くの方々が実感されるでしょう。これらの掲載は、研究発表である以上、論文と同等に扱うべきだという声を反映したものです。

論文は3篇の応募があり、採用された論文は1篇でした。先号からの課題である、1篇でも多くの論文を掲載したいという方針に何ら変わりはありません。ただ、学会誌に掲載する学術論文である以上、多くの点をクリアーしてはなりません。残念ながら不採用になった論文はいくつかの点が欠けていました。査読で指摘された諸点をご再考いただき、何らかの形にして欲しいと願う次第です。また、「研究ノート」の方へも積極的なご投稿をお願いします。

編集委員会により選書された、書評・トピックスの文献については最近の学問的動向をおさえることができるものとして、ある程度まで説得力をもっていると信じています。それでも多くの良書が漏れているのではないかと恐れます。広く会員の方々からも編集部までご推薦して頂ければ幸いです。

学会誌は学会の生命とも言えます。学会誌の活性化を促すために、数々の試みが考えられて、編集委員会、運営委員会で数度にわたり審議されてきました。近日中にその試みを発表したいと思いますので、どうかご協力をお願いします。

最後になりましたが、何度も重ねられた編集会議にも労を惜まず、ご出席くださり、建設的な意見をお寄せくださった編集委員の先生方に、また錯綜した原稿の整理・編集にご尽力いただいた英宝社、編集長、宇治正夫様に感謝します。

(編集委員長 中島俊郎)

編集委員

新井潤美

菅 靖子

田中裕介

中島俊郎

橋本順光

林田敏子

渡辺美樹

ヴィクトリア朝文化研究 第12号

2014年11月1日発行

発 行 日本ヴィクトリア朝文化研究学会
事務局 甲南大学文学部 井野瀬久美恵研究室
〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1
会 長 井野瀬久美恵

製 作 株式会社 英 宝 社
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 2-7-7 第一井口ビル

Tel 03-5833-5870 Fax 03-5833-5872
